

あ と が き

読者には、まことご迷惑をおかけすることとなってしまったが、発行がおくれたことお詫び申し上げます。東京秋場所の発刊のはずが、福岡場所にずれてしまい、季節も変わってしまった。今期、世界の核データコミュニティにとっての1大イベントである「科学と技術のための核データ国際会議：ND2001」の開催のために、核データセンター全員事務局として、全力をそちらに向けたためです。

ND2001 は、3 年の準備をへて、世界 41 ヶ国から総数 374 名の参加をいただき、盛会のうちに 10 月 12 日閉会式を迎えることが出来ました。当初、9 月 11 日にあった、ニューヨークのワールドトレードセンターへのテロの影響が軽微である事を祈っていたのですが、10 人前後がこの事件によりこれなくなったものの、ほぼ予定通りの参加者で、ほっとしました。そして、来てくれた人皆、会議も日本も楽しんで帰ったようです。参加、応援してくれた方々に感謝いたします。この会議の成功は、ひとえに、核データコミュニティのなせるわざでありまして、シグマ委員会や原子力学会核データ部会をはじめとする日本の核データ関連の人々の連携の良さは皆様ご存じの通りですが、今回会議を開催した当事者として、あらためて、世界の核データコミュニティの連携の強さを認識したしだいです。今後とも、強い連携をもった、核データコミュニティを中心に核データの研究がますます発展していくことを願ってやみません。この小冊子もそれへ向けての取り組みの一つです。今後ともご愛顧のほどお願いいたします。

長谷川 明

hasegawa@ndc.tokai.jaeri.go.jp

核データニュース編集委員会

中川 庸雄(委員長、原研)、井頭 政之(東工大)、岩本 修(原研)、喜多尾 憲助(データ工学)、長谷川 明(原研)、吉田 正(武蔵工大)